がいをとするののに

（）

　このは、をとするののに（。「」という。）にするについて、をとするののに（28。「」という。）にもののほか、がにするためになをものとする。

（）

　になののにのは、にとする。

２　、「」としているは、それをしないであっても、にとされることはないが、（45）のなのを、できるだけことがことをする。

３　にには、のがされた、するに、のをにようすることを。

（）

　が、がいになをし、は、ながないにものをした、そのによっては、のにし、はをにし、にことがある。

（の）

　によるがいをとするにがいそののからのににするため、のに、のとおりを。

２　をは、、、にするとともに、のほか、、、に、がいがとをにとなるなをなでしてするものとする。

３　のには、がいにし、のにしつつでを、のにおいてすることとする。

４　のは、に、をようものとする。

（・）

５　がいをとするののをるため、にし、やをとするののにする（５３14。）のや、がいからをくをけるなどな・をものとする。

２　にとなったには、がいをとするのになについてさせるために、また、にとなったには、がいをとするのにについてさせるために、それぞれ、をする。

３　ののうち、にことは、が。

４　に、がいのをさせるとともに、やにもしつつがいへにするためになのにより、のをる。

　このは、28からする。

　このは、29４１からする。

　このは、２４１からする。

　このは、３１１１からする。

　このは、４４１からする。

このは、６○○からする。

がいをとするののにに

　なのな

は、がいに、ななく、がいをとして、・やのをするはに・などをする、がいでないにはをことなどにより、がいのをすることをしている。なお、、そのののやのいのをするためののをとしてわれるないも、がいをとするないにする。

また、がいののをし、はするためになのは、なではない。したがって、がいをがいでないとする（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのや、をするためになで、にしつつがいにがいのをすることは、なには。

このように、なとは、ななく、がいを、となるはについて、にするががいでないよりにことであるにするがある。

　なのの

　なにするのは、がいに、がいをとして、・やのをするなどのがになのにものであり、そのにとである。においては、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）のはの・・ののに、やに・にすることがである。

　は、ながあるとしたには、がいにそのをにするものとし、をようことが。その、とがいのが、おいにのをしながらをることがめられる。

３　ないの

　ながなく、ないにするとえられるびながあるため、ないにしないとえられるはのとおりである。なお、されているはあくまでもであり、これらのだけにられるものではないこと、なにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであること、ながありないにしないであっても、のをめられるにはのがであることにする。

（ながなく、ないにするとえられる）

* がいがあることをとして、にをする。
* がいがあることをとして、にのをしにする。
* がいがあることをとして、にの、の、のをんだり、にするなをいたりする。
* がいがあることをとして、に、へのをむ。
* ・の、にではないにもかかわらず、がいをに、やのにのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、がいをにのをむ。
* がいのや、のにおけるやのなどについてすることなく、としたのをにをする。
* のにがないにもかかわらず、がいでないとはなるでのをう。
* がいがあることをとして、がいにして、いやのなどにのをげる。

（ながあるため、ないにしないとえられる）

* をうにおいて、になのなのがまれるがいのあるがいにし、とはのをする。（がいのの）
* のがきのをしたに、をく、をするためのをう。（ののの）
* をうため、がいにしたがしようとしたに、なで、にしつつ、がいにしがいのやののをする。（がいののの）

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

２　は、のはの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。そのにたってはこれらのにしたで、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、がいのをしつつ「５　なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるがある。にたっては、がいにとってのをするためのかつなをがいとがにえていくために、がおいののにめることがである。えば、がいがののためにじているや、としてなをのでする、をじてをめ、なをにしていくことがなにするとえられる。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとし、にがいのあるにしては、がいにえてであることもまえたがめられることにする。

なお、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、、、、のやりによる、による、がいがとをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

また、がいからののみでなく、がいのによりのがなには、がいの、・、、をするがをしてうのもむ。

　　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめることがましい。

４　は、のがいのをしてにわれるの、の、のの「の」をとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとの性がにわたるには、するについて、、しをうことがである。なお、のがいがしるをあらかじめするというから、のがいへのについてもしたのをうことや、・をにするから、のにするをに、やのののをることはである。

５　なのなえ

　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいににそのをするものとし、をるようめることがましい。そのにはのとおり、とがいのが、おいにのをしながら、をじてをり、のもめたをにすることがめられる。

* はへのの（はの、、をなうかか）
* の（・、・の）
* ・の

６　の

４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。なお、したはあくまでもであり、ずするものではないこと、されているであってもにするものがあることにするがある。

（にたりるへのの）

* があるに、にげのをする、をすなどする。
* のいにかれたをってす。のをかりやすくえる。
* のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。
* がいのにより、にのがあるに、のをにする。
* をじやすいがいからでののしがあった、のがであるに、がいにをし、のくにをさせてのをける。
* によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、のをしたりする。
* やがした、でのをくことがしいがいのあるにし、、きのをいて、わかりやすくしをる。
* においてがいのあるどもがやこだわりのあるをしてしまうに、からどものやのについてきったで、ちかないのときはにする。
* がいのあるからのをするようめがあったに、めにじてのをする。その、のがいるは、がいのに応じてのがする。

（にたりるの、びへのの）

* 、みげ、、、、によるのをいる。
* について、、でするに、のでがなりること、ではがないことにしてする。
* がいのあるにをする、みげにしたでする。
* がながいにし、をしてをする。
* などで、でうを、にをしてす。
* のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。
* がながいにし、や、などをいずににする。
* がいからしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするなどのをにいたを、にじてにす。

（・のなの）

* をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。
* ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。
* 、、がよくえるように、にいをする。
* をにいへする。
* にをすることがな、からのをめる。
* との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにじてをする。
* はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

（そののにおけるましいの）

* のみのに、、のするのをき、そのにじて、がいのあるにし、なでのをう。
* のにたり、がいのあるにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。
* ので、にし、はとはがなり、がないことなどをし、をしたり、したりするには、をみげるなどがいのあるやにしてをうこと、のはをうこと、また、にができるように、ゆっくりと、かつ、はっきりとすることなどをめる。
* のやにたっては、がのがいのにったをう、なでのをう。たとえば、がいのあるにをするとともに、は、がにってをう。また、をするとともに、にができるように、にをする。

　また、のにするとえられるびしないとえられるとしては、のようなものがある。なお、されているはあくまでもであり、のにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであることにする。

（のにするとえられる）

* をけるにがなためのをめるしがあったに、のみをめたがないことをに、なを行うことなくにをること。
* のにしてをめるしがあったに、「かあったらる」というなでなのをせず、をること。
* がながいからのによりがえるようをめられたに、、はによるのみでとすることとされていることをとして、やをしたのをせずにをること。
* をとするがいから、のにたりのをめるしがあったに、がのみのをとしていることをとして、であるがいのやのをすることなく、にのをること。
* でのをしているにおいて、のがいからやがよくえるでのをするしがあったに、のなどのをせずに「いはできない」というでをること。

（のにしないとえられる）

* のとしてっていないのをめられたに、そのをること。（とされるでのにするものにられることの）
* みとなっているへのについて、みのをうことがであることをに、へのをにしておくようめられたに、をること。（がいでないとのにおいてののをけるためのものであることの）
* に、がいのあるからにし、をきってをってほしいまれたが、であり、できるがいないことからをること。（な（・の）の）

（がいについて）

　をめけには、「がい」にがにたるのか、としてどのようながましいのかなどについてなえやをしているので、されたい。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

がいをとするののにする

（）

１　このは、をとするののにする（2565。「」という。）７にするについて、をとするののにする（2811。「」という。）にめるもののほか、がにするためになをめるものとする。

（）

２　２にめるないのびのにしてのは、にげるとする。

２　、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（4584）のなびのをまえ、できるだけりむことがまれることをする。

３　３２にめるには、のがされた、するにして、のをにうようすることをむ。

（）

３　が、がいにしないをし、は、ながないにもわらずのをした、そのによっては、のにし、はをったにし、にされることがある。

（の）

４　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするため、に、のとおりをく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールにえ、がいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたは、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のは、にじ、をるようめるものとする。

（・）

５　がいをとするののをるため、に対し、やをとするののにする（５３14。）のや、がいからをくをけるなどな・をうものとする。

２　たにとなったにしては、がいをとするのにするなについてさせるために、また、たにとなったにしては、がいをとするのにしめられるについてさせるために、それぞれ、をする。

３　に対し、がいのをさせるとともに、やにもしつつがいににするためになマニュアルのにより、のをる。

このは、28４１からする。

このは、３４１からする。

このは、６４１からする。

がいをとするののにするにる

１　ないのなえ

は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。なお、、そのののやのいのをするためののをとしてわれるないも、がいをとするないにする。

また、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、がいを、となる又はについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

　なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。においては、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びのはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

　は、ながあるとしたには、がいにそのをにするものとし、をるようめることがましい。その、とがいのが、おいにのをしながらをることがめられる。

３　ないの

　ながなく、ないにするとえられるびながあるため、ないにしないとえられるはのとおりである。なお、されているはあくまでもであり、これらのだけにられるものではないこと、なにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであること、ながありないにしないであっても、のをめられるにはのがであることにする。

（ながなく、ないにするとえられる）

* がいがあることをとして、にをする。
* がいがあることをとして、にのをしにする。
* がいがあることをとして、にの、の、パンフレットのをんだり、にするなをいたりする。
* がいがあることをとして、に、シンポジウムへのをむ。
* ・の、にではないにもかかわらず、がいをに、やのにのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、がいをにのをむ。
* がいのや、サービスのにおけるやのなどについてすることなく、としたのをにをする。
* のにがないにもかかわらず、がいでないとはなるでのをう。
* がいがあることをとして、がいにして、いやのなどにのをげる。

（ながあるため、ないにしないとえられる）

* をうにおいて、になのなのがまれるがいのあるがいにし、とはのをする。（がいのの）
* のがきのをしたに、をく、をするためのをう。（ののの）
* をうため、がいにしたがしようとしたに、なで、プライバシーにしつつ、がいにしがいのやののをする。（がいののの）

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

２　は、のはの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。そのにたってはこれらのにしたで、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、がいのをしつつ「５　なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるがある。にたっては、がいにとってのをするためのかつなをがいとがにえていくために、がおいののにめることがである。えば、がいがののためにじているや、としてなをのでする、をじてをめ、なをにしていくことがなにするとえられる。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとし、にがいのあるにしては、がいにえてであることもまえたがめられることにする。

なお、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、カード、、、のやりサインによる、による、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

また、がいからののみでなく、がいのによりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

　　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめることがましい。

４　は、のがいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのの「の」をとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。なお、のがいがしるをあらかじめするというから、のがいへのについてもしたのをうことや、・をにするから、のにするをに、やマニュアルのののをることはである。

５　なのなえ

　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいににそのをするものとし、をるようめることがましい。そのにはのとおり、とがいのが、おいにのをしながら、をじてをり、のもめたをにすることがめられる。

* はへのの（はの、、をなうかか）
* の（・、・の）
* ・の

６　の

　４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。なお、したはあくまでもでありずするものではないこと、されているであってもにするものがあることにするがある。

（にたりるへのの）

* があるに、にキャスターげのをする、スロープをすなどする。
* のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。
* のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。
* がいのにより、にのがあるに、のをにする。
* をじやすいがいからでののしがあった、のがであるに、がいにをし、のくにをさせてのスペースをける。
* によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。
* やがした、でのをくことがしいがいのあるにし、、きのボードをいて、わかりやすくしをる。
* イベントにおいてがいのあるどもがやこだわりのあるをしてしまうに、からどものやコミュニケーションのについてきったで、ちかないのときはにする。
* がいのあるからトイレのをするようめがあったに、めにじてトイレのをする。その、のがいるは、がいのにじてのがする。

（にたりるの、びへのの）

* 、みげ、、、、によるのコミュニケーションをいる。
* について、、でするに、のでページがなりること、ではがないことにしてする。
* がいのあるにをする、みげソフトにしたデータでする。
* がながいにし、カードをしてをする。
* などで、でうを、にメモをしてす。
* のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。
* がながいにし、や、などをいずににする。
* がいからしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするなどのをにいたメモを、にじてにす。

（ルール・のなの）

* をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。
* ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。
* スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。
* をにいへする。
* にカードゲートをすることがな、ルートからのをめる。
* との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにじてをする。
* はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

（そののにおけるましいの）

* のみのに、、のするのをき、そのにじて、がいのあるにし、なでのをう。
* のにたり、がいのあるにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。
* ので、にし、はとはページがなり、がないことなどをし、をしたり、したりするには、をみげるなどがいのあるやにしてをうこと、のはをうこと、また、にができるように、ゆっくりと、かつ、はっきりとすることなどをめる。
* のやにたっては、がのがいのにったサポートをう、なでのをう。たとえば、がいのあるにをするとともに、は、がにってサポートをう。また、をするとともに、にができるように、にをする。

　また、のにするとえられるびしないとえられるとしては、のようなものがある。なお、されているはあくまでもであり、のにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであることにする。

（のにするとえられる）

* をけるにがなためデジタルのをめるがあったに、デジタルのみをめたがないことをに、なをうことなくにをること。
* イベントのにしてをめるがあったに、「かあったらる」というなでなのをせず、をること。
* がながいからのによりがえるようをめられたに、マニュアル、はによるのみでとすることとされていることをとして、メールやリレーサービスをしたのをせずにをること。
* をとするがいから、のにたりのをめるがあったに、がのみのをルールとしていることをとして、であるがいのやのをすることなく、にのをること。
* でのをしているセミナーにおいて、のがいからスクリーンやがよくえるでのセミナーをするがあったに、のなどのをせずに「いはできない」というでをること。

（のにしないとえられる）

* のとしてっていないのをめられたに、そのをること。（とされるでのにするものにられることの）
* みとなっているへのについて、みのをうことがであることをに、へのをにしておくようめられたに、をること。（がいでないとのにおいてののをけるためのものであることの）
* イベントに、がいのあるからにし、イベントをきってブースをってほしいまれたが、であり、できるがいないことからをること。（な（・の）の）

（がいガイドラインについて）

　をめけには、「がいガイドライン」にがにたるのか、としてどのようながましいのかなどについてなえやをしているので、されたい。

（におけるについて）

　におけるのやがするでのにしては、『「をとするののにする」について～「ともにび、ともにつ」づくりをめざして～』（）にされているので、されたい。

|  |  |
| --- | --- |
| はの |  |
| びの |  |
|  |  |
|  |  |

○をとするののにするの（）

28３2511

（）

１　このは、をとするののにする（2565。「」という。）10１のにづき、７にするにし、（「」という。）がにするためになをめるものとする。

（）

２　このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。

(１)   　、、（びをむ。）そのののの（にするをむ。）をいう。

(２)　　があるであって、びによりにはになをけるにあるものをいう。

(３)　　があるにとってはをむでとなるようなにおける、、、そののものをいう。

（ないの）

３　は、をうにたり、をとしてでないとないをすることにより、のをしてはならない。

（の）

４　は、をうにたり、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、の、びのにじて、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。

（のをとするのをするための）

５　のにある（「」という。）は、２にするにし、をとするのをするため、にげるをじなければならない。

(１)　のをじたにより、そのするのをし、びをとするのにするをめさせること。

(２)　びそのそのの（「」という。）からないはのにする、のがあったは、にをすること。

(３)　のがされたにあっては、するにして、のをにうようすること。

２　は、をとするにするがじたには、かつにしなければならない。

（）

６　が、にしないをし、はながないにもかかわらずのをしなかったは、そのによっては、のにし、はをったにし、にされることがある。

（の）

７　びに、をとするにするからのににするためのをく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファクシミリ、メールにえ、がとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたについては、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のについては、にじ、をるようめるものとする。

（・）

８　は、をとするののをるため、にし、、をする、からをくをける、な・をうものとする。

２　は、のにげるにし、にめるについて、をするものとする。

(１)　たにとなった　をとするのにするな

(２)　たにとなった　をとするのにしてめられる

３　は、にし、のをさせるとともに、、にもしつつ、へにするためになマニュアルのにより、のをるものとする。

このは、６○○からする。

○をとするののにするののについて（）

28３25（）24

をとするののにする（2565。「」という。）のにい、をとするののにするの（2811。「」という。）がされ、28４１からされることとなった。

こののにおいては、のにの、にし、そのをられたい。

１

このにおけるのは、にめるところによる。

２　ない（３）

１　ないのなえ

(１)　は、にして、ななく、をとして、・サービスびのをし、はにたって、をすること、でないにしてはさないをけることにより、のをすることをしている。

なお、、そののの、のいのをするためののをとしてわれるないも、をとするないにする。

(２)　ののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、をでないとべてするい（いわゆる）、にされたにするのによるでないとのなるいびをするためになで、プライバシーにしつつにのをすることは、ないにはたらない。

(３)　ないとは、ななく、を、となるはについて、にするがじでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

１にするなののは、のとおりとする。

(１)　なにするのは、にして、をとして、・サービスびのをするのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないといえるである。

(２)　 においては、なにするかかについて、なをせずになをするしてのをなうことなく、のごとに、びの（えば、の、の、の）びのはの、びののにみ、びにじてかつにすることがである。

(３)　（「」という。）は、ながあるとしたには、にそのをにするものとし、をるようめることがましい。その、びのが、いにのをしながらをることがめられる。

３　ないの

ながなく、ないにするとえられるびながあるため、ないにしないとえられるは、のとおりとする。

なお、されているは、あくまでもであり、これらのだけにられるものではないこと、なにするかかについては、のごとにするがあることびながありないにしないであっても、のをめられるには、するがあることにするものとする。

(１)　 ながなく、ないにするとえられる

ア　があることをとして、にをする。

イ　があることをとして、にのをしにする。

ウ　があることをとして、にの、の、パンフレットのをみ、はにするなをく。

エ　があることをとして、にへのをむ。

オ　はの、にではないにもかかわらず、をに、のにのをめるのをし、はにがないにもかかわらず、のをむ。

カ　のは、サービスのにおけるはのについてすることなく、としたのをにをする。

キ　のにがないにもかかわらず、でないとはなるでのをう。

ク　があることをとして、にい、のをげる。

(２)　ながあるため、ないにしないとえられる

ア　をうにおいて、になのなのがまれるのあるにし、とはのをする。（のの）

イ　のがきのをするに、をく、をするためのをう。（ののの）

ウ　をうため、にしたがしようとしたに、なで、プライバシーにしつつ、にしの、ののをする。（ののの）

３　（４）

１　のなえ

(１)　のにする（26１。「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。また、は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がけるは、のみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、のをすることとならないよう、がのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

(２)　のにたっては、のにした、がにかれているをまえ、ののためのびについて、のをしつつ、２の(１)のアからウまでにげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるがある。また、のは、の、のにじてわりるものである。

ア　は、のはの、びにらし、とされるでのにするものにられること。

イ　は、でないとのにおいてののをけるためのものであること。

ウ　は、はの、びのなにはばないこと。

エ　の、、へのがであり、にのあるにしては、にえてであることもまえたがめられること。

(３)　とのにたっては、をするためのかつなをびがにえていくために、がいののにめることがである。えば、がののためににじている、としてなをのでする、をじてをめ、なをにしていくことがなにするとえられる。

なお、とのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストのびにつながるはである。

(４)　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、カード、、、の、りサインによる、による、がとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。また、からののみでなく、のによりのがなには、の、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

なお、のがなが、、・、をっていない、のがないであっても、がのをとしていることがであるときには、のにみ、にしてとわれるをするためにをきかける、なにめることがましい。

(５)　は、ののをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、のがすることもあるため、に、とのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

なお、のがしるをあらかじめするというから、のへのについてもしたのをうことび・をにするから、のにするをに、、マュアルのののをることはである。

２　なのなえ

(１)　なについては、なをせずになをするしてのをなうことなく、のごとに、のをし、びにじてかつにすることがである。

ア　はへのの（はの、はをなうかか）

イ　の（しくはなはしくはの）

ウ　はの

(２)　は、なにたるとしたは、ににそのをするものとし、をるようめることがましい。その、びのがいにのをしながら、をじてをり、のもめたをにすることがめられる。

３　の

(１)　は、１にすとおり、びにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。

なお、されているは、あくまでもであり、ずしもするとはらないことびされているであってもにするものがあることにするがある。

ア　にたりるへのの

(ｱ)　があるに、はのにキャスターげのをする、スロープをすする。

(ｲ)　のいにかれたパンフレットをってし、はパンフレットのを かりやすくえる。

(ｳ)　のまでののに、のにわせたでき、は、びのりについて、のをく。

(ｴ)　のにより、にのがあるに、のをにする。

(ｵ)　をじやすいからでののがあったにおいて、のがであるときに、にをし、のくにをさせてのスペースをける。

(ｶ)　によりをさえることがしいにし、がをさえ、はバインダーのをする。

(ｷ)　はがしたに、でのをくことがしいのあるにし、、きのボードをいて、かりやすくし、をる。

(ｸ)　イベントにおいて、はこだわりのあるをしてしまうのあるにしては、からの、コミュニケーションのについてきったで、ちかないのときは、にする。

(ｹ)　のあるからトイレのをするようめがあったに、めにじてトイレのをする。その、のがいるは、のにじてのがする。

イ　にたりるの、びへのの

(ｱ)　、みげ、、、、によるのコミュニケーションをいる。

(ｲ)　について、、でするに、のでページがなりることびではがないことにしてする。

(ｳ)　のあるにをするに、みげソフトにしたデータでする。

(ｴ)　がなにし、カードをしてをする。

(ｵ)　ではでうを、にメモをしてす。

(ｶ)　のに、をののでし、はかりやすいでする。また、のがあるには、びといったをう。

(ｷ)　がなにし、、、をいずににする。

(ｸ)　 からがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするのをにいたメモを、にじてにす。

(ｹ)　のにたり、をながらをくことがなにし、ゆっくり、なをがけるのをう。

(ｺ)　のにたっては、がのにったサポートをう、なでのをう。

ウ　ルール・のなの

(ｱ)　をつことがなにし、ののをたで、をれえる。

(ｲ)　ってにんでをっているに、ののをたで、のがるまではをする。

(ｳ)　スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。

(ｴ)　をにいへする。

(ｵ)　ののにおいて、のがまれる、、とされていないをのにする。

(ｶ)　との、のにいることによるにより、にがあるは、にの、のびのにじてをする。

(ｷ)　はをうにおいて、にるがられることをに、のをするのをめる。

(ｸ)　オンラインでのがなに、をうためのウェブサイトがにとってしづらいものとなっていることから、にしてのをめるがあったに、めにじてはメールでのをう。

(２)　のにするとえられるびしないとえられるとしては、のようなものがある。

なお、されているは、あくまでもであり、のにするかかについては、のごとにするがあることにするものとする。

ア　のにするとえられる

(ｱ)　をけるにがであるためのをめるがあったに、のみをめたがないことをに、なをうことなくにをる。

(ｲ)　イベントのにしてをめるがあったに、かあったらるというなでなのをせず、をる。

(ｳ)　のがなからのによりがえるようをめられたに、マニュアル、はによるのみでとされていることをとして、メール、リレーサービスのをせずにをる。

(ｴ)　 をとするから、のにたりのをめるがあったに、がのみのをルールとしていることをとして、であるの、のをすることなく、にのをる。

(ｵ)　 でのをしているイベントにおいて、のからスクリーン、がよくえるでのをするのがあったに、ののをせずに、いはできないというでをる。

イ　のにしないとえられる

(ｱ)　のとしてっていないのをめられたに、そのをる。（とされるでのにするものにられることの）

(ｲ)　イベントに、のあるからにし、イベントをきってブースをってほしいされたが、であり、できるがいないことから、そのをる。（な（・の）の）

第４　その

１　へにするためにするマニュアルのは、とするがされたものとなるよう、とのにめるものとする。

２　２び３において、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（4584）のなびのをまえ、できるりりむことがまれることをする。